

DRBFM運用のポイントと実践のコツ

～変化点管理を強化するリスク分析手法～

■ プログラム

近年、企業を取り巻く環境が大きく変化し、リスクマネジメントの重要性は年々高まりをみせています。しかし、リスクマネジメントを正しく理解し、組織的にしっかりと活用している企業は多くありません。それも、どのような場面や用途に、どの分析ツールが最適か、また、それを確実に運用するプロセスなど、さまざまな課題からリスクマネジメントの強化が進まない状況ではないでしょうか。今回は、そのような課題を解決する方法をDRBFMを通しお伝え致します。

セミナー内容

1. リスク評価の重要性 ✓ 何故、リスク評価が必要なのか ✓ リスク評価の種類とその特徴	3. DRBFMの活用方法 ✓ DRBFMを活用するための仕組み ✓ DRBFMを活用した人材育成と知財化
2. DRBFMとは ✓ DRBFMとは ✓ DRBFMの特徴と使用用途 ✓ DRBFMの作成方法とその評価	4. DRBFMの実習とまとめ ✓ DRBFMの作成 ※例題をもとにTry ✓ 本日のまとめ

※プログラムの内容は諸般の事情により変更になる場合があります。

担当
講師

たばた もりゆき
田畑 守行

パナソニック ライティングデバイス株式会社 (旧 松下電子工業)、アイシン・エイ・ダブリュ株式会社にて、品質部門及び生産技術部門で国内外拠点の製造ラインの立ち上げから量産後の維持改善に関する業務を経験。さらに、品質マネジメントシステム (ISO/IATF16949) の構築業務に従事し、製造プロセス設計を実施。現在はカイゼンベース株式会社にてコンサルタントとして、企業様の課題解決に向け尽力している。

開催概要

日時：2022年 **5月11日** (水) 13:00～15:00 (2時間)

会場：オンライン (Zoom)

対象：管理職候補、一般等

※希望者には、無料個別相談会を実施します。

受講料

10,000 円 (税別)

※入金確認後、ZoomのURLをメールにてお知らせいたします。

